
赤 潮 注 意 報 (続報・コデニウム 赤リリコデス)

鹿児島県水産技術開発センター
平成 21 年 7 月 23 日

八代海赤潮注意報続報 No.1 - 1

[1] 7月22日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

全調査点において有害種による着色域は確認されませんでした。熊本県津奈木沖で夜光虫による着色域を確認しました。

有害種は、コデニウム 赤リリコデスが2～4 cells/ml, シアトネラ アンティカが1～3 cells/ml確認されました。また1 定点においてシアトネラ マリナが2 cells/ml確認されました。なお、熊本県津奈木沖の採水では、5m層でコデニウム 赤リリコデスが165 cells/ml確認されました。

※各調査点の細胞数は下図を参照

(2) 海 況

表層水温は八代海全域で24.7～26.8℃で平年同時並、塩分は32.9～33.4で平年同時期より高めとなっています。

水 温 (表層): 平均 25.8℃ (26.1℃)
塩 分 (表層): 平均 33.2 (30.5)
透明度 : 平均 8.8 m (8.2m)

()はH元～H20年7月の平均値 (同平年値)

[2] 今後の赤潮発生の予想

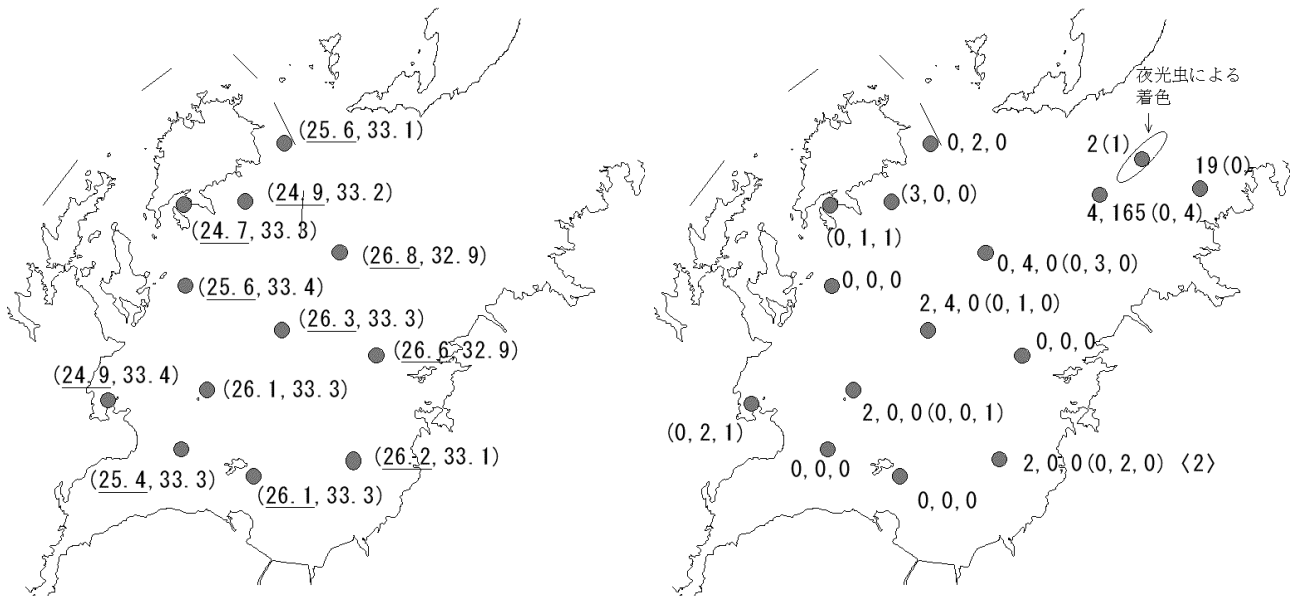
今回の調査では、有害種による着色域は確認されなかったものの、コデニウム 赤リリコデス、シアトネラ アンティカ及びシアトネラ マリナが確認されました。

熊本県は6/30に八代海におけるカニミキト1, 7/14にシアトネラ属、さらに7/14にコデニウムの赤潮警報を発令し継続中であり、本県でも7/21にコデニウム 赤リリコデスに関する赤潮注意報を発令したところです。

調査全域で競合する珪藻類が少ない状況であり、海況、天候次第では、本県海域でも増殖する可能性がありますので注意が必要です。

今後とも、定期的な検鏡等により監視を行って下さい。

次回調査は7月27日の予定。



(表層水温 (°C), 表層塩分)

※数字はコデニウムの表層, 5m層, 10m層の細胞数 (cells/ml)

()内はシアトネラ アンティカの表層, 5m層, 10m層の細胞数 (cells/ml)

< >内はシアトネラ マリナ表層の細胞数 (cells/ml)

赤潮情報(携帯用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>